

X I . 臨床指数 (クリニカルインディケーター)

1. 救急センターで対応したCPA症例

※集計中

2. 消化器内科

【内視鏡件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡	345	394	430	473	467	433	436	460	422	355	355	306	4,876
下部内視鏡	156	124	137	162	166	141	157	155	158	138	132	132	1,758
大腸良性EMR	45	30	30	53	59	47	44	42	45	29	24	37	485
大腸癌EMR	3	0	3	3	5	2	8	1	4	3	3	3	38
E R C P	20	27	21	25	19	18	16	18	17	14	24	25	244
E S D	5	3	1	7	5	5	8	8	4	3	4	6	59
E I S	0	1	1	2	2	3	0	2	1	0	0	0	12
その他	6	3	2	3	3	1	6	2	4	1	3	5	39

《肝胞癌に対する治療》

RFA : 1例

PEIT : 0例

TACE : 29例

(RFA : 経皮的ラジオ波焼灼療法 PEIT : 経皮的エタノール注入療法 TACE : 肝動脈化学塞栓療法)

3. 血液内科

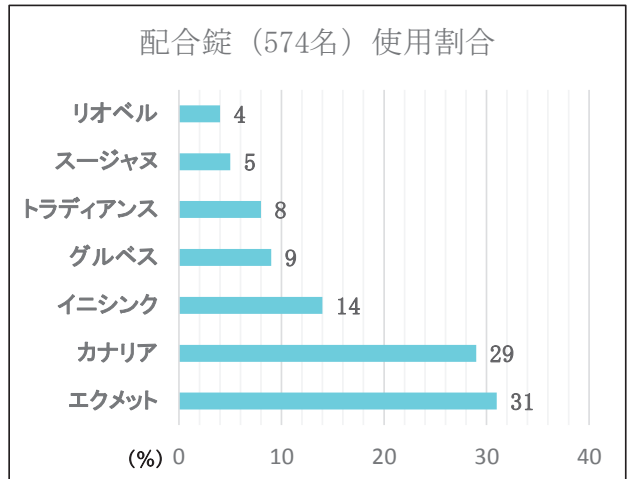
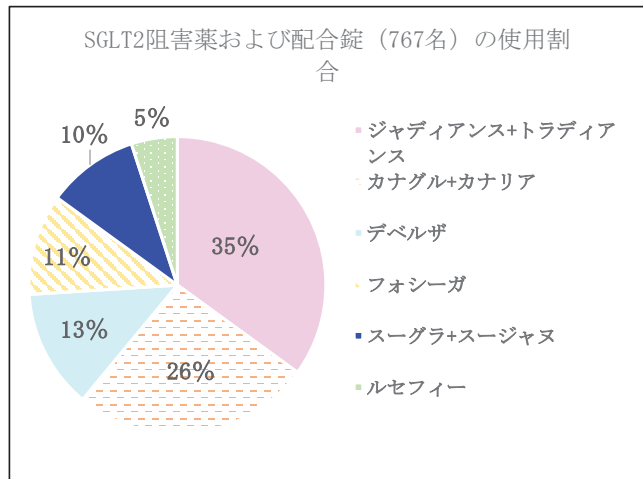
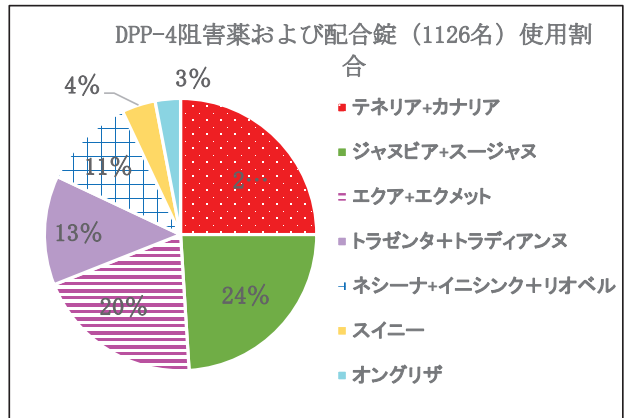
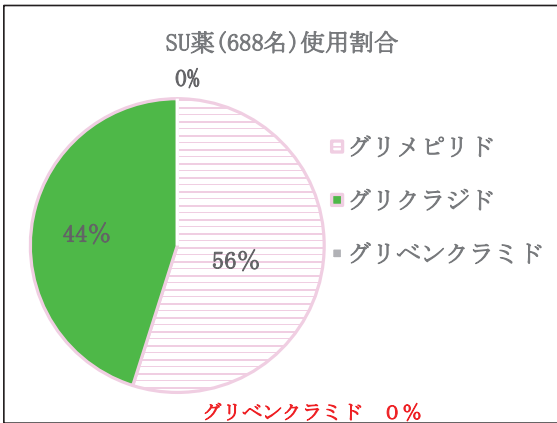
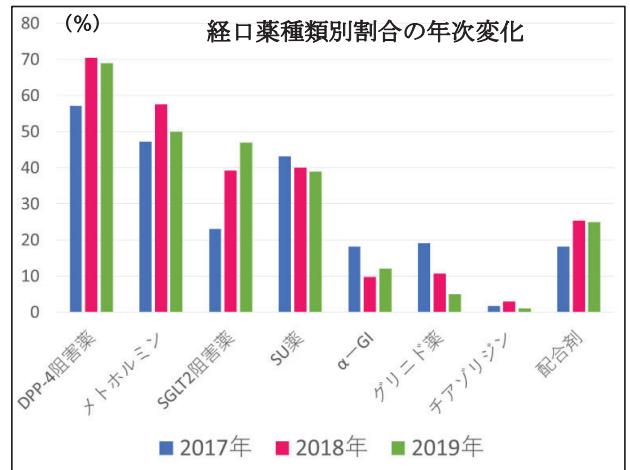
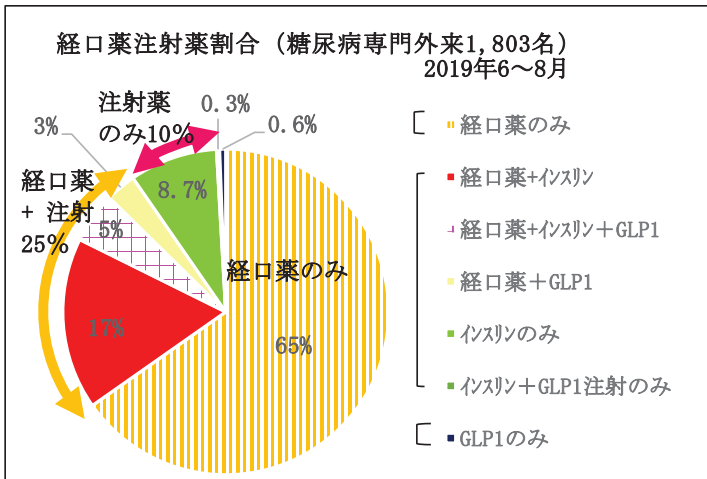
※集計中

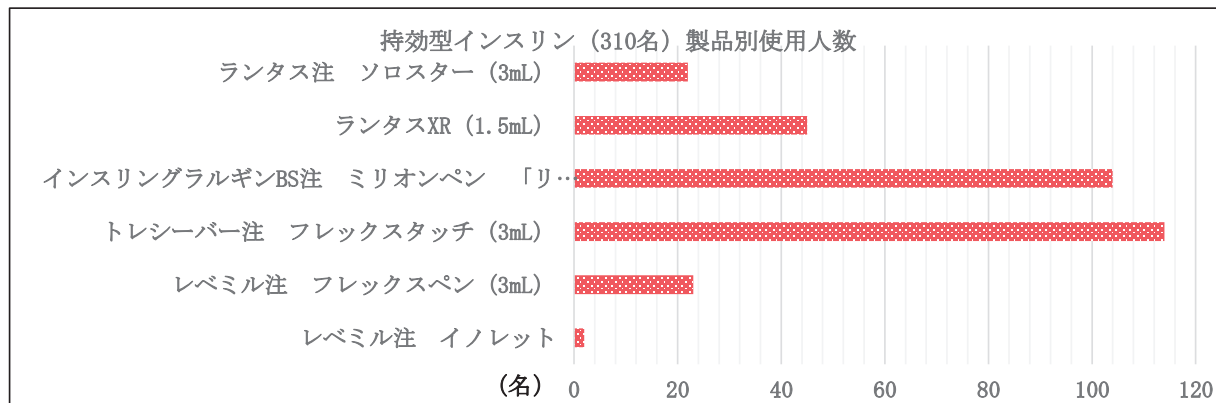
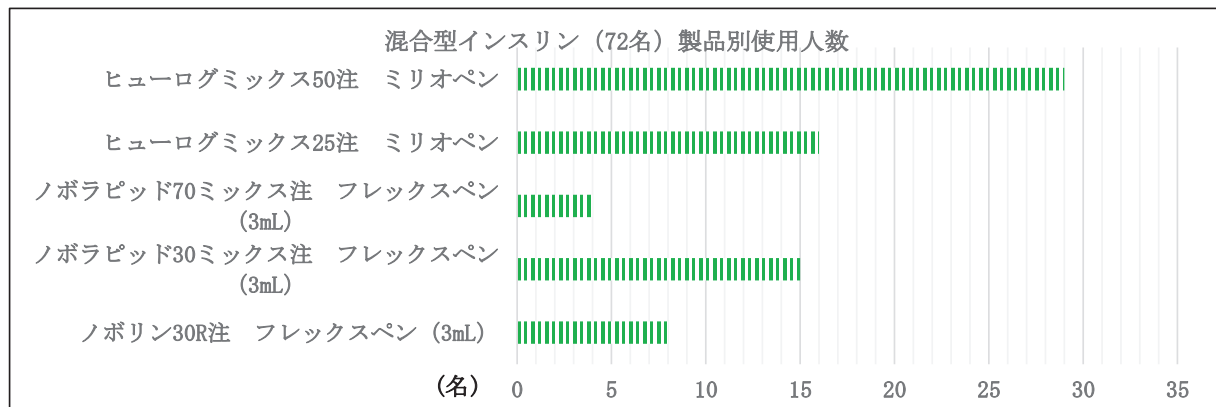
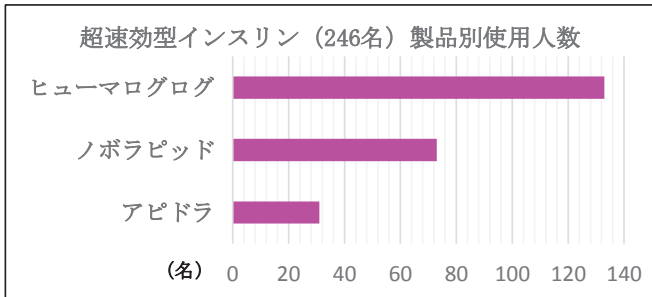
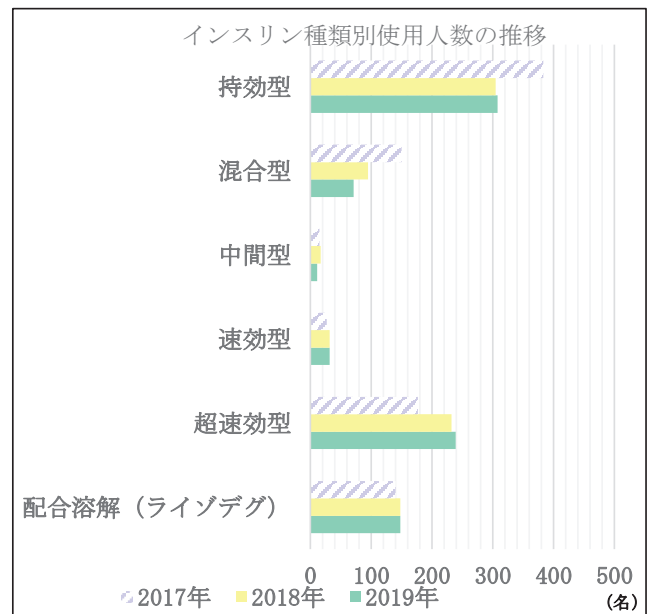
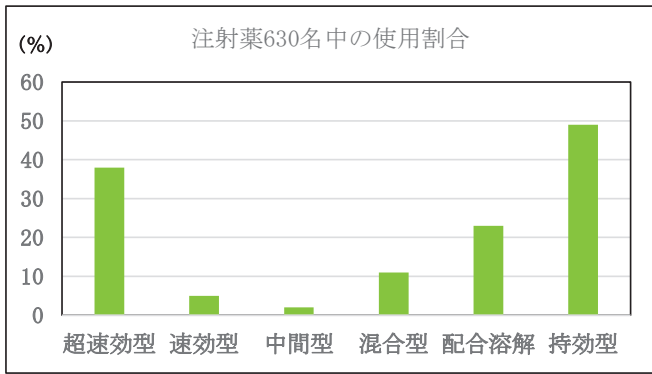
4. 糖尿病代謝内科

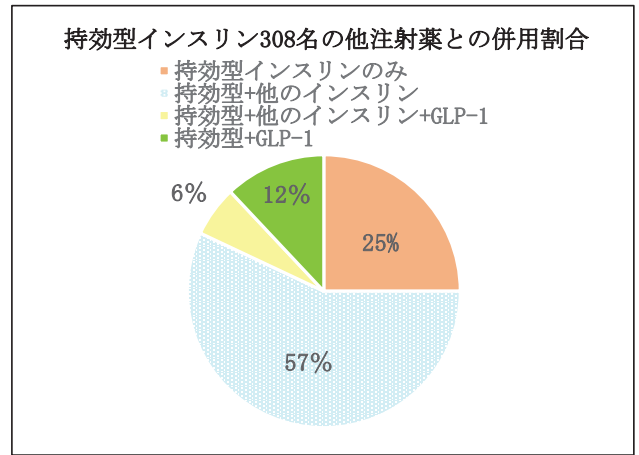
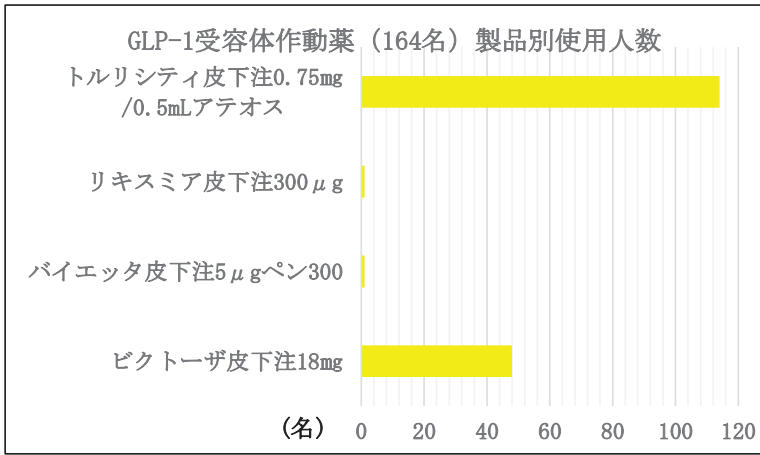
2019年度糖尿病薬剤使用状況

6～8月の3か月間

すべて実人数で表記



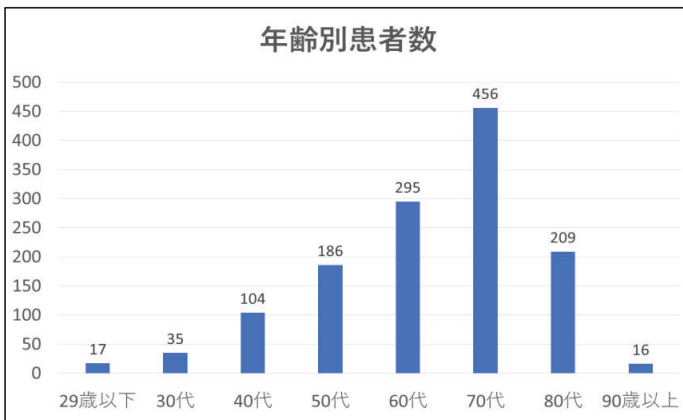




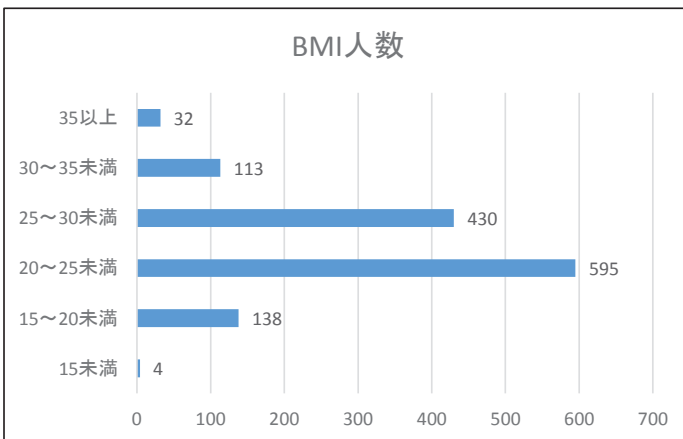
2019年10月～12月糖尿病外来統計

2019年10月～12月糖尿病外来患者1,318名
 男性：793名 1型糖尿病 95名
 女性：525名 2型糖尿病 1,217名
 妊娠糖尿病 1名
 その他 5名

・除外
 救急受診、2019年7月以降の初診患者（3ヶ月以内の患者）、他科入院患者

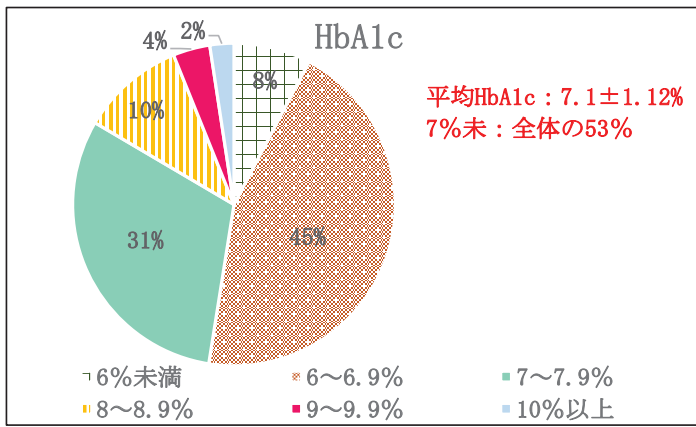


平均：67.1 ± 13.8歳
 男性：67.4 ± 13.0歳
 女性：66.6 ± 15.2歳



平均BMI：24.9 ± 5.68 kg/m²
 男性：25.9 ± 6.28 kg/m²
 女性：25.15 ± 7.11 kg/m²

・身長または体重記載のない6名を除く1,312名



高血圧治療あり 908名 68.90%
脂質異常症 薬あり 417名 39.20%

脂質	人数	平均	SD
Tch (mg/dL)	1,267	178	33.6
LDL-C (mg/dL)	1,205	92	25
HDL-C (mg/dL)	1,255	54	14.4
TG	1,264	152	104.8

検尿結果	U-Alb (mg/g Cre)	人数	U-Alb検査なし
マイナス		573名	
	30未満	366名	
	30~300未満	197名	
	300以上	10名	
	不明		306名
プラスマイナス		71名	
	30未満	20名	
	30~300未満	43名	
	300以上	8名	
	不明		24名
1+		56名	
	30未満	5名	
	30~300未満	22名	
	300以上	29名	
	不明		42名
2+		19名	
	30未満	1名	
	30~300未満	1名	
	300以上	17名	
	不明		29名
3+以上		7名	
	30未満	0名	
	30~300未満	0名	
	300以上	7名	
	不明		16名
計 (検尿結果とU-Alb両方あり)		726名	417名

U-Alb検査率 1,318名中 68%

表1. かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準(作成:日本腎臓学会、監修:日本医師会)

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満	30~299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr比 (g/gCr)	正常 (-)	軽度蛋白尿 (±)	高度蛋白尿 (+~)
		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分/ 1.73m ²)	G1	正常または高値 ≥90	血尿+なら紹介、 蛋白尿のみならば生活指導・診療継続	紹介
	G2	正常または軽度低下 60~89	血尿+なら紹介、 蛋白尿のみならば生活指導・診療継続	紹介
	G3a	軽度~中等度低下 45~59	40歳未満は紹介、 40歳以上は生活指導・診療継続	紹介
	G3b	中等度~高度低下 30~44	紹介	紹介
	G4	高度低下 15~29	紹介	紹介
	G5	末期腎不全 <15	紹介	紹介

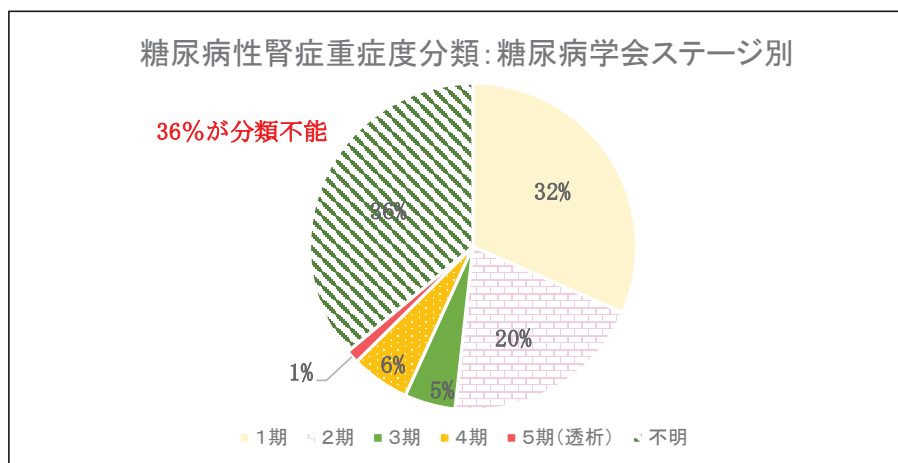
上記以外に、3ヶ月以内に30%以上の腎機能の悪化を認める場合は速やかに紹介。
上記基準ならびに地域の状況等を考慮し、かかりつけ医が紹介を判断し、かかりつけ医と専門医・専門医療機関で逆紹介や併診等の受診形態を検討する。

腎症ステージ

GFR検査記録があるもの 1,310名

eGFR (ml/min/1.73m ²)	A1 (30 mg/gCre 未満)	A2 (30~300 mg/gCre未満)	A3 (300 mg/gCre以上)	不明	計
G1 (>90)	96	44	7	93	240
G2 (60~90未満)	234	130	21	236	621
G3a (45~60未満)	68	68	23	95	254
G3b (30~45未満)	16	22	15	49	102
G4 (15~30未満)	5	12	7	29	53
G5 (15未満)	40 (うち透析17)				40

腎障害あり : 651名 (49.7%)



■昨年度との比較～eGFR～

比較データあり 1,244名

平均eGFR変化量 -1.09 ml/min/1.73m²
SD 16.9

5 ml/min/1.73m²以上の減少で新たにeGFR60 ml/min/1.73m²未満になったもの
59名 (4.7%)

ステージ別変化量(G3、G4)	Stage	G3a	G3b	G4
	人数	224名	115名	74名
	平均eGFR変化量	1.28	1.41	-1.13

新たにG4期になったもの 18名 (-1.4%)

G2->G4 2名

G3a->G4 1名

G3b->G4 15名

■昨年度との比較～U-Alb～

比較データがあるもの 706名

平均Alb変化量	13.38489 mg/gCre
SD	220.0447 mg/gCre

増加(悪化) 397名

不変～減少(改善) 309名

■Stage変化のあるもの

悪化	A1->A2	A1->A3	A2->A3
	76名	1名	28名
改善	A2->A1	A3->A2	A3->A1
	38名	25名	1名

5. 循環器内科

経皮的冠動脈インターベンション(PCI)	268 例
血管内治療(EVT)	63 例
腎動脈インターベンション(PTRA)	4 例
経皮的心筋中隔アブレーション(PTSMA)	1 例
バルーン大動脈形成術(BAV)	1 例
永久ペースメーカー	
新規植込み	33 例
交換	17 例
カテーテルアブレーション	162 例
下大静脈フィルター留置	2 例
心筋生検	11 例
心嚢ドレナージ	17 例

6. 呼吸器内科 (呼吸器内科+呼吸器外科)

肺癌	112 例
小細胞癌	11 例
腺癌	58 例
扁平上皮癌	30 例
大細胞癌	2 例
LCNEC	1 例
非小細胞癌	4 例
腺扁平上皮癌	2 例
組織型不明	7 例
悪性胸膜中皮腫	0 例
縦隔腫瘍	0 例
縦隔癌	0 例
胸腺癌	0 例
胸腺腫	3 例
転移性肺腫瘍	6 例
転移性癌性胸膜炎	3 例
良性腫瘍	2 例
リンパ腫	4 例
原発不明癌	1 例
化学療法	53 例
外来化学療法	40 例 (導入率 75.5 %)
EGFR-TKI	3 例
放射線治療	21 例

7. 消化器外科 2019. 1. 1 ~2019. 12. 31 消化器外科退院患者統計

入院患者数 770 男 494 女 276

入院手術症例数 571

合併症 95 (89 症例)	感染症	33	縫合不全	3
	呼吸器系	5	循環器系	5
	出血	9	脳血管障害	1
	腎	1	その他	38

転帰	治癒	164	転科	33	悪化	0	軽快	504
	転院	13	不変	34	死亡	22		

「死亡」の内訳

良性 7	放射線腸炎・腸穿孔、癒着性イレウス・誤嚥性肺炎、腹部動脈瘤出血、SMA 血栓(疑)(虫垂炎術後)、SMA 血栓、事故死、盲腸捻転
悪性 15	原病死(大腸癌 8、膵癌 2、肝内胆管癌 1、胆のう癌 1、胃癌 1、小腸リンパ腫穿孔 1)、呼吸不全(直腸癌再発イレウス術後)

平均入院日数 12.1 日

手術合併症 総数 571 合併症症例 89 例 (15.6%)

食道	1 例	・CV カテーテル感染
胃十二指腸	12 例	・輸入脚症候群 ・前立腺膿瘍 ・腹腔内膿瘍、イレウス ・創し開 ・イレウス(3) ・膵液瘻 ・術後出血 ・縫合不全(疑) ・肺炎 ・創感染
上部穿孔	2 例	・偽膜性腸炎、腹腔内膿瘍 ・偽膜性腸炎
小腸	5 例	・MRSA 敗血症 ・偽膜性腸炎 ・心房細動 ・腹壁癒痕ヘルニア ・誤嚥性肺炎、多臓器不全
肝臓	2 例	・呼吸不全 ・肛門周囲膿瘍
胆嚢	13 例	・十二指腸球部通過障害 ・結腸憩室炎 ・創出血 ・腹腔内 SSI ・腹腔内膿瘍 ・DIC ・胆汁漏 ・総胆管結石(2) ・肺気腫増悪 ・無気肺 ・心房細動 ・心不全
胆道	1 例	・胆汁漏
膵	2 例	・膵液瘻+腹腔内膿瘍 ・膵液瘻、味覚異常、食思不振
大腸	31 例	・縫合不全、後腹膜膿瘍 ・胆嚢炎、膵液瘻、イレウス ・術後吻合部出血、肺炎 ・イレウス(4) ・胆嚢炎、PICC 感染 ・せん妄 ・縫合不全(疑) ・腹腔内膿瘍(3) ・外腸骨動脈損傷 ・排尿障害 ・縫合不全 ・偽膜性腸炎、深部 SSI ・尿路感染、敗血症 ・(術中)吻合部出血 ・低 Na 血症(2) ・高 K 血症 ・術後吻合部出血、腹腔内膿瘍 ・下肢 DVT、肺梗塞 ・感染(疑) ・下血(憩室または吻合部出血疑)

		・CV カテーテル感染、肺炎	・術後吻合部出血
		・創感染	・偽膜性腸炎、肺炎
下部穿孔	5 例	・肺炎、腹膜炎	・イレウス
appe 穿孔-	3 例	・吐血、腸炎、血管閉塞(疑)	・創感染
appe 穿孔+	3 例	・イレウス(2)	・腹腔内膿瘍
鼠径ヘルニア	4 例	・虚血性腸炎	・尿閉
ヘモ	0 例	・内精動静脈損傷、尿閉	・漿液腫
その他	5 例	・SMA 血栓大量腸管切除後、十二指腸穿孔	
		・外傷性脾破裂脾摘後、門脈血栓	
		・腹壁癒痕ヘルニア術後、イレウス	・会陰ヘルニア術後、漿液腫
		・閉鎖孔ヘルニア嵌頓小腸切除、創感染	

手術関連死亡 8 例 (1.40%)

良性

・小腸穿孔術後	81 歳	女性	術後 71 日
・腹部動脈瘤出血術後	71 歳	男性	術後 2 日
・虫垂炎術後	76 歳	男性	術後 17 日
・盲腸捻転術後	78 歳	男性	術後 47 日
・全小腸、右半結腸切除後	76 歳	女性	術後 10 日

悪性

・直腸癌再発イレウス術後	81 歳	男性	術後 25 日
・小腸リンパ腫穿孔術後	83 歳	女性	術後 25 日
・横行結腸癌ストマ造設後	97 歳	女性	術後 40 日

再手術症例 6 例 (1.05%)

・腹腔鏡下右半結腸切除	→ 縫合不全で腸切、再吻合
・腹腔鏡下小腸切除術	→ 腹壁癒痕ヘルニアでヘルニア根治術
・上行結腸癌、術中出血でダメージコントロール	→ 止血、小腸横行結腸バイパス術
・腹腔鏡下 S 状結腸	→ 縫合不全で腹腔鏡下ドレナージ
・全小腸、右半結腸切除	→ 十二指腸穿孔で縫合術
・腹腔鏡下ハルトマン手術	→ 創し開と腹壁癒痕ヘルニアで再縫合、ヘルニア再発

再入院患者数 10 例 (1.75%)

・虫垂炎術後	→ 腹腔内膿瘍
・S 状結腸捻転、切除後	→ イレウス
・直腸癌 Miles 術後	→ 会陰ヘルニア
・十二指腸穿孔術後	→ 腹腔内膿瘍
・直腸癌ストマ造設後	→ イレウス
・血栓性外痔核切除後	→ 内痔核増悪、切除
・小腸リンパ腫穿孔切除後	→ 他部位の小腸リンパ腫穿孔
・痔瘻手術(coring seaton)	→ 後出血(2 回)
・虫垂炎非切除腹膜炎手術後	→ 虫垂炎
・胃潰瘍穿孔術後	→ 不明熱、肝障害

再入院については、(一時的)ストマ造設→ストマ閉鎖術や、切除不能癌に対する姑息的手術→癌増悪などは省略しています。

8. 整形外科

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 2019年 地域連携パスの実績

- | | | |
|--|------------|----------------------------|
| ① 総患者数 | 173名 | [平成30年 184名] |
| ② 治療方法 手術療法 | 173名 | |
| ③ 地域連携パス利用率(人数) | 60.7%、105名 | [平成30年 62.0%、114名] |
| ④ 当院での在院日数 | | |
| i) 全体 | 28.4日 | (死亡7名を除く)
[平成30年 30.0日] |
| ii) 地域連携パス利用者 | 25.1日 | [平成30年 26.2日] |
| iii) 地域連携パス除外者 | 34.0日 | (死亡7名を除く)
[平成30年 32.4日] |
| ⑤ 手術から転院・退院までの日数 | | |
| i) 全体 | 25.4日 | [平成30年 26.4日] |
| ii) 地域連携パス利用者 | 22.0日 | [平成30年 22.8日] |
| iii) 地域連携パス除外者 | 31.2日 | [平成30年 32.4日] |
| ⑥ 総治療日数 (地域連携パスを利用し、当院から回復期リハビリ病院を経て在宅
復帰が達成できるまでの期間) | | |
| | 87.4日 | [平成30年 85.3日] |

9. 産婦人科

分娩数 97 うち 経膈分娩 67 帝王切開術 30 (帝王切開率 31%)

全手術数 95

婦人科良性疾患に対する手術 43

婦人科小手術 8

婦人科悪性疾患に対する手術 2

帝王切開 30

産科小手術 12

分娩数に大きな変動はない。婦人科手術は減少。

10. 泌尿器科

- ・ 周術期死亡 なし
- ・ 再手術症例 1 例 (TUR 後出血)
- ・ 手術創感染 なし
- ・ 前立腺生検後菌血症 1 例
- ・ 前立腺生検 93 件 うち癌検出 55 件

11. 脳神経外科

破裂脳動脈瘤部位別指標

部位	H&K	WFNS	mRS	治療法
BA-SCA	3	2	1	coiling
ACA	1	1	0	clipping
Acom	1	1	2	clipping
MCA	1	1	1	clipping
MCA	5	5	5	clipping
VADA	5	5	5	coiling
Acom	4	4	5	clipping
Acom	1	1	2	clipping
IC-PC	5	5	5	clipping
ACA?	1	1	5	clipping
Batop	5	5	6	coiling
VADA	1	1	0	coiling
MCA	1	1	0	clipping
ACA	3	3	4	clipping
MCA	1	2	1	clipping
MCA	1	1	5	clipping
Acom	2	1	0	clipping

破裂脳動脈瘤治療最終modified Rankin Scale(good recovery) : 50%

急性期脳梗塞 t-PA(塗りつぶし) および 機械的血栓回収療法指標 (網掛け)

	年齢	病名1	病名2	機械的血栓回収療法指標 (網掛け)							TICI	NIHSS 前	NIHSS t-PA後	NIHSS カテ後	mRS 1週間後	ICH
				DWI- ASPE CTS	O2D	D2N	D2P	D2R	P2R							
iv t-PA	93	lt.M1 occlusion	ATBI	9	47	75						2	2		3	(-)
	87	rt.M1 occlusion	af embolism	4	42	74						17	11		4	(-)
	53	lt.M3 occlusion	af embolism	9	19	72						6	6		0	(-)
	93	rt.IC occlusion	ATBI	9	61	67						3	3		4	(-)
	72	rt.thalamic infarction	lacunar infarction	9	148	112						3	3		2	(-)
	78	lt.thalamic infarction	lacunar infarction	10	<132	37						9	6		2	(-)
	79	BAD of lt.pontine paramedian a. cerebral infarction (rt.frontal)	ATBI	11	203	61						7	3		4	(-)
	59	cerebral infarction (rt.frontal)	hemodynamic	10	39	57						21			4	(-)
	73	rt.SCA occlusion	ATBI	11	34	46						7	2		5	(-)
	60	pontine infarction	lacunar infarction	11	52	51						5	3		1	(-)
	50	rt.thalamus & internal capsule	lacunar infarction	10	131	66						4	2		0	(-)
	71	rt.corona radiata	BAD	10	121	46						4	4		4	(-)
	67	rt.thalamus & corona radiata	lacnar	9	73	99						2	0		0	(-)
	45	lt.putamen & corona radiata	BAD	9	40	61						11	11		3	(-)
	53	lt.thalamus & internal capsule	lacunar infarction	10	76	101						4	2		1	(-)
	61	small vessel disease?		11	45	58						4	2		3	(-)
	72	ATBI	rt.ICS	10	39	59						11	9		2	(-)
	94	Lt.P1 occlusion	af embolism	11	196	67						23	17		5	(-)
	77	rt.internal capsule	BAD	10	72	49						12	2		3	(-)
	70	rt.M3 occlusion	ATBI	8	46	61						6	3		2	(-)
85	lt.M2 occlusion	pAf	6	100	42						17	9		3	(-)	
76	lt.internal capsule & coronal radiata	BAD	10	42	110						3	1		1	(-)	
84	rt.coronal radiata	lacunar infarction	10	193	48						3	2		2	(-)	
48	rt.P4 occlusion	ESUS	11	39	97						1	0		2	(-)	

	年齢	病名1	病名2	DWI-ASPECTS	O2D	D2N	D2P	D2R	P2R	TICI	NIHSS前	NIHSS t-PA後	NIHSSカテ後	mRS 1週間後	ICH
	88	lt.M1 occlusion	af embolism	4	26 (院内発症)	-	86	256	170	1	25	-	25	6	(-)
	62	lt.M1 occlusion		7	30	83	90	129	39	3	22	22	5	1	(-)
	89	lt.M1 occlusion	af embolism	4	不明	-	92	215	123	2B	27	-	21	5	(-)
	92	rt.IC-T occlusion	af		院内発症	-	-	-	25	3	42	-	42	5	(-)
	90	lt.M1 occlusion	af	-	院内発症	156	191	271	80	2B	17	-	16	4	(-)
	92	lt.M1 occlusion	af	8	268	-	78	-	-	-	24	-	24	5	(-)
	72	BA occlusion	embolism?	11	154	-	201	317	116	3	15	-	15	3	(-)
	72	lt.IC-T occlusion	af	11	29	-	76	107	31	3	20	-	5	2	(-)
	93	lt.M1 occlusion	af	10	不明 (60or 780)	63	99	208	109	3	20	-	8	4	(+)
	81	lt.M2 occlusion	ATBI	5	院内発症	-	120	-	-	2a	33	-	36	5	(-)
	76	rt.M2 occlusion	af	11	院内発症	143	140	210	70	3	6	6	2	2	(-)
	93	lt.M2 occlusion	af	7	院内発症	420	512	-	-	1	2	-	6	3	(-)
	87	rt.M1 occlusion	af	9	196	68	92	140	48	2b	11	11	5	4	(-)
	87	lt.M1 occlusion	af	10	30	53	86	141	55	3	24	24	13	4	(-)
IVR	80	lt.M1 occlusion	af	8	64	51	77	128	51	3	5	5	5	0	(-)
	82	rt.M2 occlusion	af	7	41	49	89	188	99	2b	29	29	23	4	(-)
	86	BA occlusion	ESUS	11	283	85	106	177	71	3	28	25	5	3	(-)
	61	lt.M2 occlusion	ESUS	6	25	65	102	161	59	3	23	23	18	4	(-)
	77	lt.M2 occlusion	af	8	152	-	96	141	45	3	5	-	3	3	(-)
	85	rt.M2 occlusion	af	7	87	-	104	210	106	2a	12	-	11	3	(-)
	79	lt.M2 occlusion	ATBI	10	59	73	104	181	77	2b	12	4	4	1	(-)
	57	lt.IC occlusion	dissection	6	5 (院内発症)	38	59	170	111	3	24	24	7	2	(-)
	73	lt.IC-T occlusion	ATBI	5	院内発症	-	103	151	48	2b	33	-	14	3	(-)

tPA単独最終mRS(0~2) good recovery: 48%
 機械的血栓回収率TICI:2B以上: 78%
 機械的血栓回収治療最終mRS 0~2(good recovery) : 23%

O2D : onset to door(min.)
 D2N : door to needle(min.)
 DTP : door to picture(min.)
 D2P : door to puncture(min.)
 D2R : door to recanalization(min.)
 P2R : puncture to recanalization(min.)

12. 麻酔科

麻酔科管理症例数 2,671
(全手術症例数 4,254)

麻酔別分類	症例数
全身麻酔	1,458
全身麻酔＋硬膜外（脊髄くも膜下）麻酔	866
硬膜外麻酔＋脊髄くも膜下麻酔	1
硬膜外麻酔	0
脊髄くも膜下麻酔	217
その他	129
緊急症例数	309
重大な医療事故症例数	1

13. 歯科口腔外科

- 入院患者数 496人
男 252人
女 244人
- 平均年齢 45.36歳
- 平均入院日数 4.99日
- 入院内訳 496症例
予定入院 459症例
予定外入院 36症例
緊急医療入院 1症例
- 術後合併症 下顎智歯抜歯後知覚鈍麻 3症例